

# 溝小だより

<https://mizonobe-kahoku.edumap.jp/>

河北町立溝延小学校

学校通信 No.346

2022. 6. 30

## 日常の学びは 日常のくらしとのつながり

言葉を選ぶことは 自分のくらしを見つめ 自分と向き合うこと

6年国語 「言葉を選んで短歌を作ろう ～たのしみは～」

今年度も校内研究を充実し、学びを通して子どもが育っていく授業づくりを目指して、先日、第1回授業研究会を行いました。

まず、担任が学び手である子ども側に立って大事にしていることは「学級風土≒学習の土台」です。全力で自分の考えを深めるには、「わからない」と正直に言えたり、仲間に尋ねたり、精一杯表現したりできるという安心感が必要不可欠だからです。6年生は男女関係なく仲が良く、心と言葉にじっくりと一人で向き合っている場と、「どうしてそう思ったの?」「その前の場面は?」「その時〇〇はどうなっていたの?」…上手に聞き合うことの両方を尊重し合い、自分自身や家族とのつながり等、新たなことに気づきながら言葉を選んでいきました。また、交流会を通して、これまでの努力や周りの人との関わり、夢中になっていること等をお互いに知ることで、仲間をさらに深く理解する機会にもなりました。「学び」と「くらし」、「言葉」と「自分」を深く広く、そして楽しく考えている姿に、子ども達の成長が表れていました。

単元の最後に「学級歌会」<題「〇〇な時」(自由選択)>を開きました。一部を紹介します。周りの情景や聞こえてくる音、子どもの気持ちに思いをさせ、味わってお読みください。

よろこびは 芯でとらえて 左中間 ボールを追ってる 相手見る時  
くやしきは 百メートルを 走り抜け それでも一位 のがした時  
たのしみは ワクワクしながら ラーメン待ち 夏に家族と 麺すする時  
しあわせは 夢に向かって マンガ描く シャープペンシル カチカチする時



本校ホームページへは  
こちらからどうぞ



(校長 小林 聡)